

# 持続可能な資源利用に向けた 東京都の施策の状況

東京都環境局 古澤

# 東京都廃棄物審議会での審議

- 2015年6月 東京都廃棄物処理計画の改定について諮問
- 2015年11月 中間のまとめ
- ~12月25日まで パブリックコメント
- 2016年1月 答申(予定)

# 次期計画の基本的考え方

## (中間のまとめ)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会  
とその後を見据え、

- 持続可能な資源利用への転換  
— 先進国の大都市としての責任を果たす —
- 良好な都市環境の次世代への継承
- 多様な主体との連携  
(区市町村との共同検討会など)

# 主要な施策(中間のまとめ)

- 食品ロスの削減
- 使い捨て型ライフスタイルの見直し
- 建設工事におけるエコマテリアルの普及促進
- 「持続可能な調達」の普及
- 事業系廃棄物のリサイクルのルールづくり  
など

※「持続可能な資源利用に向けたモデル事業」  
の成果を生かしていく。

# 2020年に向けた東京都の取組

— 大会後のレガシーを見据えて —



平成27(2015)年12月

東京都

Legacy & TOKYO

## テーマ6 環境に配慮した持続可能な大会を通じて、豊かな都市環境を次世代に引き継いでいきます

### ○ 持続可能な資源循環型都市の実現

■ 先進企業等と共同した「持続可能な資源利用」に向けたモデル事業の実施等を通じ、食品ロスの削減や事業系廃棄物のリサイクルルールづくりを進めるなど、大会に向けて廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を徹底する。

■ 大会に向けて、森林認証木材等の各種認証製品や再生資材を選択するなど、「持続可能な調達」を推進するとともに、都民や企業等の低炭素・自然共生・循環型の製品・原材料等の選択を促進し、大会後も「持続可能な調達」の普及・定着を目指す。

■ 大会に向けて、主要繁華街における公共空間の美化運動を洗練化したスタイルに転換するなど、来街者が気持ち良く過ごすことができる「清新な都市空間」を創出する。